

奥州市立病院・診療所経営強化プランの構成について

令和5年度から令和9年度を計画期間として各医療施設の経営改善等の取り組みについて記載し、計画の全体方針は、地域医療奥州市モデル及び新医療センター建設基本構想をはじめ、県の医療計画や地域医療構想との方向性が合致するものとする。

構成（案）

<p>第1章 はじめに</p> <p>1. 経営強化プラン策定の背景</p> <p>2. 計画の期間</p> <p>第2章 市立医療施設を取り巻く状況</p> <p>1. 胆江医療圏の医療環境</p> <p>(1) 医療圏の人口と将来推計</p> <p>(2) 地域別人口・推移</p> <p>(3) 地域別年齢構成</p> <p>(4) 将来患者の推計</p> <p>(5) 医療圏内病院・有床診療所</p> <p>(6) 医療圏の機能別病床数と必要病床数</p> <p>2. 胆江地域の医療の現状に対する課題</p> <p>(1) 人口推計と地域毎の疾病動向</p> <p>(2) 医療施設等の状況</p> <p>(3) 医療需給の状況</p> <p>(4) 在宅医療と介護の状況</p> <p>(5) 救急対応</p> <p>(6) 高額医療機器の保有状況</p> <p>第3章 市立医療施設の現状と将来の方向性</p> <p>1. 市立医療施設の現状と課題</p> <p>(1) 各医療施設の現状と課題</p> <p>ア. 総合水沢病院 イ. まごころ病院 ウ. 前沢診療所 エ. 衣川診療所 オ. 衣川歯科診療所 カ. 奥州市国民健康保険直営診療所</p> <p>(2) 市立病院・診療所の標榜診療科の概要</p> <p>(3) 経営状況</p>	<p>（記載内容）</p> <p>⇒国のガイドラインに基づき、持続可能な病院として経営を強化するための経営強化プランを策定するもの。</p> <p>⇒令和5年度から令和9年度の5年間を計画期間とする。</p> <p>⇒生産年齢人口の減少。高齢者の割合は増加</p> <p>⇒全地域で人口減少傾向。</p> <p>⇒高齢者割合は全国平均を超え、全体的に割合が高い。</p> <p>⇒将来患者推計は入院・外来患者ともに減少見込み。</p> <p>⇒水沢、江刺に集中。人口分布に応じた設置状況。</p> <p>⇒急性期及び慢性期が過剰。回復期が不足する見込み。</p> <p>⇒人口減少の中、地域完結型の医療提供体制が求められる。</p> <p>⇒持続可能で安定した医療提供体制の構築。</p> <p>⇒胆江圏域の医療機能は、現時点で充足。</p> <p>⇒在宅医療や訪問看護体制の強化。</p> <p>⇒基幹病院の負担軽減、初期救急体制の維持。</p> <p>⇒共同利用による効率的な活用を促進。</p> <p>⇒経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況。民間の施設で担うことができず、かつ住民にとって必要な政策医療を提供することを基本として運営。</p> <p>各医療施設の現状と課題について記載。</p> <p>⇒標榜診療科 26 診療科、病床数 235 床（休床含む）。</p> <p>⇒平成 28 年～令和 4 年までの決算の概要を施設毎に記</p>
---	--

<p>ア. 総合水沢病院 イ. まごころ病院 ウ. 前沢診療所 エ. 衣川診療所 オ. 衣川歯科診療所 カ. 経営管理部 キ. 医療局全施設</p>	<p>載。</p>
<p>2. 地域医療奥州市モデルの実現に向けた取組</p>	<p>⇒5つの市立医療施設、県立病院、民間医療施設、それぞれの強みを生かしながら機能分化を図るとともに、DXの推進によって地域全体をカバーするネットワーク型地域医療体制を構築。</p>
<p>3. 地域医療奥州市モデルのコンセプト</p>	<p>⇒ネットワーク型地域医療体制、地域包括ケアシステムの充実、医療資源の最適化、経営改善と医師確保、患者利便性の向上、回復期を主体とした医療体制。</p>
<p>4. 今後果たすべき役割の将来方針</p>	<p>⇒市民が安心できる地域医療体制、総合診療的な視点、保険・福祉との連携、5つの市立医療施設の継続、医療資源の最適化、経営強化。</p>
<p>5. 新医療センター開業までの取組</p>	<p>⇒地域医療の強化と地域包括ケアの推進、市立医療施設の経営改善。</p>
<p>第4章 経営強化に向けて</p>	
<p>1. 役割・機能の最適化と連携の強化</p>	
<p>(1) 地域医療構想を踏まえた市立医療施設が果たすべき役割・機能</p>	<p>⇒感染症対応、へき地医療、救急医療、小児医療、リハビリテーション機能、災害時医療、在宅医療、健診事業。</p>
<p>(2) 地域包括ケアシステム構築に向け果たすべき役割・機能</p>	
<p>ア. 救急及び緊急時の受入体制の整備</p>	<p>⇒胆沢病院の負担軽減、市内の診療所、介護施設などから緊急の入院受入への対応。</p>
<p>イ. 急性期病院からの受入体制整備</p>	<p>⇒急性期医療を受けた後の在宅復帰するまでの医療や、高齢者やリハビリが必要な患者の受入機能の強化検討。</p>
<p>ウ. 在宅医療に関する市立医療施設の役割</p>	<p>⇒バックベッド機能、訪問診療、訪問看護の機能充実。</p>
<p>エ. 市民の健康づくりの強化</p>	<p>⇒検診事業の充実。</p>
<p>(3) 機能分化・連携強化</p>	<p>⇒施設毎の役割・機能、病床数などの規模を記載。</p>
<p>ア. 総合水沢病院 イ. まごころ病院</p>	
<p>ウ. 前沢診療所 エ. 衣川診療所</p>	
<p>オ. 衣川歯科診療所</p>	
<p>カ. 奥州市国民健康保険直営診療所</p>	
<p>(4) 医療機能や医療の質、連携強化等に係る数値目標</p>	<p>⇒施設毎の医師数、入院・外来患者数、平均在院日数、紹介率、救急車搬送受入数、救急患者受入数、訪問診療件数、訪問看護件数などを記載。</p>
<p>ア. 総合水沢病院 イ. まごころ病院</p>	
<p>ウ. 前沢診療所 エ. 衣川診療所</p>	
<p>オ. 衣川歯科診療所</p>	

<p>(5)一般会計からの繰入金の考え方</p> <p>(6)住民の理解のための取組</p> <p>2. 医師・看護師等の確保と働き方改革</p> <p>(1)医師・看護師の確保</p> <p>(2)医師の働き方改革への対応</p> <p>3. 経営形態の見直し</p> <p>4. 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組</p> <p>5. 施設・設備の最適化</p> <p>(1)施設・設備の最適化</p> <p>(2)デジタル化への対応</p> <p>第5章 経営目標</p> <p>1. 目標</p> <p>2. 経営指標に係る数値目標</p> <p>(1)総合水沢病院 (2)まごころ病院</p> <p>(3)前沢診療所</p> <p>(4)衣川診療所 (5)衣川歯科診療所</p> <p>3. 目標達成に向けた具体的な取組</p> <p>(1)総合水沢病院 (2)まごころ病院</p> <p>(3)前沢診療所</p> <p>(4)衣川診療所 (5)衣川歯科診療所</p> <p>第6章 収支計画</p> <p>1. 総合水沢病院</p> <p>2. まごころ病院</p> <p>3. 前沢診療所</p> <p>4. 衣川診療所</p>	<p>⇒国の基準を基本とし、地域住民に安定的な医療を提供するために政策上重要な経費については本市独自の繰出基準を定めて繰出している。</p> <p>⇒日頃から経営状況等を知っていただくために、予算・決算の概要や出前講座等の実施状況などをホームページや広報誌等の様々な媒体による情報を発信。</p> <p>⇒医師：医師奨学生の義務履行、関連大学との連携・協力の促進。看護師：採用試験の複数回実施、看護実習生の受け入れ強化、病院説明会の積極的参加。</p> <p>⇒医師招聘の継続、タスクシフトの推進、補助者の増員。</p> <p>⇒地方公営企業法の全部適用を維持し経営の効率化に努める。</p> <p>⇒感染対応マニュアルや診療継続計画等の更新、感染防護具等の備蓄、有事に備えた体制整備。</p> <p>⇒施設の維持管理及び修繕を計画的・効率的に行いながら、費用の平準化によるコスト削減。</p> <p>⇒医療情報の共有化、ネットワークのセキュリティ対策やバックアップ体制を強化。マイナンバーカード保険証の利用促進。</p> <p>⇒第4章の経営強化の取り組みを早期に実現させ、令和12年度を目途に経常収支の収支均衡化を目指す。</p> <p>⇒経常収支比率、医業収支比率、修正医業収支比率、1日当たり患者数・診療収入、医師1人当たり診療収入材料費収益比率、委託費収益比率、給与比率等。</p> <p>⇒施設毎に収益に関する取り組み及び経費削減に関する取り組みを記載。</p> <p>⇒令和5年度から令和9年度までの収支見通しを施設毎に記載。</p>
---	--

5. 衣川歯科診療所	
資料 (用語解説など)	

令和5年11月
奥州市医療局経営管理課